

紹巴	三	仲言	七
宵柏	三	新撰字鏡	一一・一四
初言	六	眞宗聖教和語説	一四
助言	六	神賜説	一三
助語	二四	しんだい	三
諸國方言	七	神代文字	二四・七・九
序詞	二六	唇内	一四
助字	六	す	
助辭音義考	一五・一五	鈴木胤	八五・一三
助辭本義一覽	一五	隅田八幡宮日本鏡の銘	一四
助詞助動詞小書	一五	すみちがひ	五
助動詞	八	隅違のかよひ	六
紫蘭	一四	せ	
しるし	九	聲韻一體	七
しろ	九		
作用の詞	一三		

靜辭	一四	體	三
清濁通用	五	體言	六
制の詞	四	代匠記	四九・五〇
節用集	三	題しらす	一四
舌内	一四	體の詞	一三
爲り	一五	體用	五
仙覺萬葉抄	二〇	たか	七
仙源抄	一六・五	高橋殘夢	一四
そ		濁音	七六・一〇一
ぞ	三	屬	八
宗祇	六	直語	一八
そがいな	七	立	三
そぎやん	七	橋忠兼	三
徂徠(菰生)	四・八	橋千蔭	五

て	定家	元	轉語	六・五
	定家假名遣	二七・六	田公望(矢田部公望)	三・三
	哲學的文法	六・七・一五	篆隸萬象名義	二
	手爾波大概抄	二六・三	と	
	手爾波大概抄之抄	二六	同韻	五
	手爾波	二六	同韻相通	三
	てには綱引綱	二六	同音異義	八
	てにをは	二六	東音譜	六
	豆爾乎波點	一五・一七・一四・一三	同音別字	三
	天爾乎波と助字	一〇六	東雅	六・八一
	てにをはの範圍	一〇六	同内相通	三
	手爾乎葉祕傳	一〇六	同文通考	七
	てら	一〇六	動辭	一四
	寺	一〇六	動詞一元論	一六
			動詞各形の用法	一三

ち	橋成員	一五	地名字音轉用例	一四
	橋守部	一五	チャンブレン	一六
	經緯圖 <small>ケラスキ</small>	八	長慶天皇	二六・七
	田中道麿	一三	疊韻	五
	谷川士清	六・七	中古の歌文の價值	二六
	谷千生	一六		
	玉勝間	九・九	ッ	四
	玉の小櫛	二六	通音	七・八一
	玉の緒(詞の)	九〇・一〇六・一〇八	通俗語源説	一〇
	玉の緒繰分	一四	地	一〇
	たまふとたまふる	一四	川々留	元
	田安宗武	一四	つばくら	七
	たゆ・たやす	一四	都麻基微爾	一三
	たんのう	一四	隊 <small>タ</small>	七
			鶴峰戊申	一五

二段活	二四	日本小文典批評	一六二
二條爲世	四	日本文語文典	一六二
二條良基	三	日本文典(ホフマン)	一六二
にとへとの別	八九・二七	縫目	一五〇
にひまなび	元	ぬ	
日本紀私記	三	ね	
日本口語教科書	一六	ねば	一七
日本口語小文典	一六・二六	の	
日本語要略	一六	能動詞	一五六
日本語彙	一六	後鈴屋(本居春庭)	七二・二〇
日本語文典	一六	宣長(本居)	四三・二・八九・九七・九五
日本語辭典	一六		
日本書紀口訣	二五		
日本書紀通證	九		
日本釋名	六		
日本小文典	一三		

動詞の活用	三	中江藤樹	四
動詞の自他	一九	中島廣足	一〇・三六
動詞の識別法	二三	なかなかに	一〇
動詞の分類	二四・三三・三五	中二段	一三
富樫廣蔭	二五	詠屬	一〇九
梅井一室	元	な・な…その別	八九
徳川光圀	四・四三	隱 <small>カブリ</small>	九
土佐日記燈	二八	靡 <small>ナヒキ</small>	九
戸田茂睡	四	男信 <small>オメシタ</small>	一四一
結 <small>ムス</small>	一五	なむ	一五七
問のぞ	一〇	なり	一四八
倫 <small>トモ</small>	七	なりもし	九
友鏡	一四	名を立ち	一四五
友鏡底の影料	一四	に	
な		梨本集	四

宣長の語法觀	一三三	ばの二種	一〇七
は		馬場辰猪	一九
俳諧天爾波抄	一五	はまをぎ	九
法		林宗二	三
方言	七・七六・九八・八二	林羅山	四
波行延言	一三六	藩翰譜	六
波行P音	六・六六	半虚字	八
白石(新井)	一三・六六	反語	三
莫囂圓隣之	二〇・四	反切	三五・七
はざま	九	伴信友	四
橋本進吉	一三〇	ひ	
芭蕉	四	びいどろ	七〇
はたらき	五・七九	被役動詞	一五
發動性間接作用	二五	比較文典	五・六
		引合	七

被言	二五	伏	九
必然でない轉用	一四	富士谷成章	八
火水の詞	九	富士谷御杖	二五
紐鏡	九・一〇一・一一三・一三六	不定語	一六
百人一首燈	二五	藤原惺窩	四
平假名	七	藤原爲長	三
品詞	三	藤原長親	二
品詞(義門)	一四	物類稱呼	七
品詞(廣蔭)	一五	部類別	三・六
品詞分類	一四	フンボルト	一七
品詞分類(白石)	六	文脈研究	一六
品詞分類(成章)	八	文雄	一〇
ふ		文鏡祕府論	一〇
諷詞	二	へうす	一五
福田御楯	九		

索引

未然	一〇三	メダースト	一六一
未定	八〇	明了房信範	三五
皆川淇園	八四・八六・二五	も	
源順	三三	も	
みのしろ	七〇	用	二九
む	一六	も	
無言抄	三三	本居宣長	四三・八二・八九・九七・九五
村田春海	二二・七五・七六	本居春庭	七七・二〇
村田了阿	一四九	文字の分類	二七
むれ	九	や	
め	九	や	二九・一〇八
明魏	二六・五五・五七	や・か	一〇八
命令形と已然形	一三三	や・か・の別	八九・九二
		約音	七六
		約言	三三・七七・二六

一八七

へブン	一六	榎島昭武	三六
變格	一〇六	眞備(吉備)	三五・四四・七九
變格詞	一四	枕詞	二六
ほ		まし	八九・二八・二五
母音	一〇	ましかば	一〇七
母語	五	雅澄(鹿持)	七
北邊隨筆	二五	松永貞徳	四
細川幽齋	四五・四七	松虫鈴虫	一八
ぼたん	七〇	眞淵(賀茂)	三九・六〇・七四
發語	二四・七	萬葉集燈	一八
ほとけ	九	萬葉特有の語法	二二
ホフマン	一六	み	
ほむる詞	三	身	七
ま		御國詞活用抄	一三・二六
		みこと	二八

一八六



倭訓栞	二
和語說略圖	一四七
和語通音	九・〇・八二
和字解	五・六
和字正濫抄	五・六
和字正濫通妨抄	五・六
和字正濫要略	五
和字通例全書	五
わた	七
和名抄	三・四・八
和名類聚抄	七
和魯通言比考	一六二

昭和十年二月廿一日印刷  
昭和十年二月廿五日發行

頒布實費一圓三十錢

著者 松尾拾治郎

發行者 東京市麻布區一本松町廿七  
立木朋吉

印刷者 東京市神田區三崎町二ノ二二  
堀内文治郎

發行 東京麻布區一本松町廿七  
振替東京六四九五二番  
大岡山書店

湯澤幸吉郎著	湯澤幸吉郎著	パチエス著 今泉忠義譯註	鶴峰成申著 松尾捨治郎註	鈴木義 今泉忠義註	義門法師著 松尾捨治郎註
室町時代の言語研究	解説日本文法	室町時代語辭典	語學新書 <small>チャムブレン 日本小 文典 谷千生 同批評</small>	言語四種論 <small>附 雅語音聲考 活語斷續語</small>	活語餘論 <small>附 指出の磯 磯の州崎</small>
菊判四〇〇頁 定價四圓二十錢	新菊五八〇頁 定價三圓八十錢	近刊			

神義 保門 至法 純師 註著	今義 泉門 忠法 義師 註著	神義 保門 至法 純師 註著	神義 保門 至法 純師 註著	富士谷御杖著 松尾捨治郎註	富士谷成章著 松尾捨治郎註	富士谷成章著 松尾捨治郎註	國語學叢書 松尾捨治郎 今泉忠義 神保至純 校註
玉緒線分	活語指南 <small>附 友鏡 和語略圖</small>	活語雜話	山口栞	俳諧てには抄 <small>附 てには大腐抄 同抄 之抄 姉小路てには傳</small>	あゆひ抄 <small>附 改訂版 索引</small>	かざし抄 <small>附 よそひ抄</small>	
				四六判三四〇頁 定價二圓五十錢	四六判三四〇頁 定價二圓五十錢	四六判三二〇頁 定價二圓五十錢	



6

2

2193

617  
278

